

【保育所版】 秋田県福祉サービス第三者評価 評価結果表

評価実施基準日	平成 28 年 12 月 12 日
評価確定公表日	平成 29 年 1 月 31 日
評価情報更新日	平成 年 月 日

◆ 評価を実施した機関

名称	(特定非営利活動法人) インクルージョン秋田第三者評価研究会
所在地	(〒 010 - 163) 秋田県 秋田市新屋表町8番19号
TEL	(090) 4553 - 4895
FAX	(018) 828 - 8185
E-mail	incl@kind.ocn.ne.jp
ホームページURL	なし

◆ 評価を受審した事業者

法人名称	(社会福祉法人) こどものくに
法人所在地	(〒 010 - 0003) 秋田県 秋田市東通二丁目10番22号
TEL	(018) 834 - 9548
FAX	(018) 827 - 6777
法人代表者	橋本 俊之
法人事業所名	こどものくに ^{ホイクエン} 保育園
サービス種別	保育所
管理者名	佐藤 千工子
開設年月日	昭和 54 年 4 月 27 日 定員数 60 名
TEL	(018) 834 - 9548
FAX	(018) 827 - 6777
E-mail	info@kodomonokuni.ed.jp
ホームページURL	http://www.kodomonokuni.ed.jp

◆ 評価の総評 (優れている点、改善を求められる点)

Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織	
<p>キリスト教の教えを基に保育理念が掲げられており、愛されている実感が持てる保育の目指すべき方向性が園内外に示されています。基本方針や保育目標は、組織の保育に対する考え方や姿勢が示され、「保育士姿勢」として職員の行動規範となっています。園内研修や職員会議を通して保育の質の向上に向けた取り組みが組織的に行われています。中・長期計画は、6つのビジョンが設定され、各々の内容が具体的なものとなっていますが、単年度事業計画については、数値目標や具体的な成果等を設定し、実施状況の評価が見える内容となることを望みます。また、事業計画の策定や評価においては、職員の参画や意見の集約・反映をもとに策定するなどの組織的な取り組みを望みます。</p>	
Ⅱ 組織の運営管理	
<p>定期的に理事長、園長と職員との面談の機会が設けられ、職員の就業状況や意向を把握し、年次有給休暇の取得促進等のための工夫がされています。また、職員同士が言い合える関係づくりや、互いに相談しやすい雰囲気づくりが職場内に構築され、職員が安心して長く勤務できるような環境が整備されていることを高く評価します。運動会や夏祭り等の園の行事には、公園や医療機関、スーパー等へのポスターの掲示や町内会を通じて案内状の回覧をお願いするとともに近隣地域には直接子どもたちがチラシを配布して参加の誘いをするなど、子どもと地域との交流を広げるための働きかけを積極的に行っています。また、毎月1回の保育園の地域開放や出前保育等、保育園が有する機能を地域に還元する取り組みを積極的に行っています。今後は職員一人ひとりが設定した目標について、進捗状況や目標達成度の確認等、目標管理に関する仕組みづくりを望みます。</p>	
Ⅲ 適切な福祉サービスの実施	
<p>保育理念・基本方針を入園のしおりやホームページに記載し、子どもの人権やプライバシーに配慮した保育サービスに努めています。保育の開始・変更については、重要事項の説明を行い、個別の事情に配慮した相談・説明や引継書を作成し、継続的に対応を行っています。アンケートや懇談会により、満足度の向上を目的とする機会を持ち、保護者の相談や意見も述べやすい環境の提供や体制を構築しています。ヒヤリハット・事故報告書の記録、感染症や災害発生時対応マニュアルの整備により安心・安全なサービス提供に努めています。災害時等における保護者や職員への安否確認の周知方法や職員の行動基準を検討し、策定を望みます。福祉サービスの記録は、個人情報保護規程のもと、適切に管理されています。</p>	
A 保育内容、子育て支援、保育の質の向上	
<p>“家庭的な環境の中で保育を充実し、一人ひとりの子どもと保護者が豊かに育て合う保育園を目指す運営方針に基づき、各年齢に合わせた保育課程を作成しています。また、天気のよい日は近隣の公園へ出掛けたり、5歳児になると自転車乗りの練習を行ったりと、その日の天候や、園児の体調に合わせてのびのびとした保育を行っています。2ヶ月に1回お弁当の日、年に1回レストランでの外食日があり、給食だけでなく、保護者にお弁当を作ってもらったり園以外の場所で食事をする楽しみを提供しています。朝の会では全園児が参加し、その日の当番の子どもがみんなの前で思い思いの遊びや話をし、得意なことを披露することで自信がついていくような取り組みを行っていることを高く評価します。保護者に対しては、登降園時の他に連絡ノートにより園児の状況を情報交換されています。また、クラス懇親会や保護者総会等で保護者とコミュニケーションが図られています。</p>	
※ 受審した事業所からのコメント	
<p>保育を見直す良い機会となり、それぞれに職員の考え方も知ることができました。園の運営について具体的に目標を定めて取り組む必要を感じました。</p>	

◆ 細目の評価結果（基本評価45項目）

項 目	評価結果	優れている点・改善を求められる点	評価結果に対する事業者からの意見
I 福祉サービスの基本方針と組織			
I-1 理念・基本方針			
I-1(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。			
①理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a・b・c	キリスト教の教えを基に理念、基本方針がホームページや、園のしおり等に記載し、職員会議や園内研修の場で職員に周知している。 保護者に対しては、入園時に園のしおりを配布の上、説明している。	
I-2 経営状況の把握			
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。			
①事業経営をとりまく環境が的確に把握・分析されている。	a・b・c	とりまく環境を把握するために行政等からのメールの確認や園長会等に参加して把握に努めている。定期的に費用や利用者の推移等の分析を行ってほしい。	費用についてはすぐにでも取り組めるが、利用者の推移については、必要なところを助言をうけながらピックアップして取り組みます。
②経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	a・b・c	毎月の安全点検の実施や職員からの意見をもとに、その都度設備の修理・更新を行っている。福祉サービスの内容や職員体制等、現状分析を望みます。	現状分析とはどのようなことなのか、様々な例を見ながら、当園にあったものを勉強していきたい。
I-3 事業計画の策定			
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。			
①中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a・b・c	保育目標や地域との交流、園舎・土地等6つのビジョンを策定し、各々中期計画と長期計画を作成している。財務的裏付けとなる収支計画を作成することが望まれます。	財務的裏付けに関しては、常におもっているところなので、しっかりした計画を作成します。
②中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a・b・c	事業計画は数値目標や具体的な成果等が設定されていないため、実施状況の評価を行える内容となっていない。	ひな形を示していただきたいです。

項 目	評価結果	優れている点・改善を求められる点	評価結果に対する事業者からの意見
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。			
①事業計画の策定と実践状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a (b) c	事業計画は、年度末の職員会議で次年度計画を周知されている。その策定に当たっては職員の参画や意見の集約等の取り組みが行われていない。	話し合う場を設けたいと思います。
①事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	a (b) c	事業計画の主な内容は、保護者会や園だよりにより保護者等に周知している。理解しやすいような工夫が望まれます。	どのようにするのが理解されやすいのか工夫したいと思います。
I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組み			
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。			
①保育の質の向上に向けた取り組みが組織的に行われ、機能している。	a (b) c	第三者評価の受審に当たり、園内研修や職員会議を通して組織的な取り組みが行われている。	
②評価結果に基づき保育所として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a (b) c	明らかになった改善すべき課題は、職員会議等で全職員が共有化している。改善策や改善計画の策定が望まれます。	改善策、計画がひと目でわかるような様式を作成し、具体的に記入するようにしたいと思います。
II 組織の運営管理			
II-1 管理者の責任とリーダーシップ			
II-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。			
①施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a (b) c	毎月の職員会議の場や園だより、有事（災害、事故等）の際において、園長は自らの役割と責任を職員に明確化している。	
②遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a (b) c	行政からの情報や月1回の施設長会での情報交換の場を通して、法令等を正しく理解する取り組みをしている。また、社会保険労務士等から労務管理情報の把握をしている。	
II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。			
①保育の質の向上に意欲を持ち、その取組に指導力を発揮している。	a (b) c	職員会議等を通じて保育の質の現状と質の向上について職員の意見をくみ取り、具体的な取り組みに指導力を発揮している。	

項 目	評価結果	優れている点・改善を求められる点	評価結果に対する事業者からの意見
②経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	a・b・c	配置基準以上の保育士の配置やクラス担任が継続的に卒園まで関わる仕組み等、具体的に取り組んでいる。	
II-2 福祉人材の確保・育成			
II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。			
①必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組みが実施されている。	a・b・c	「保育士姿勢」を定めており、パート職員も含めて園内研修や園外研修を計画的に行っている。	
②総合的な人事管理が行われている。	a・b・c	「保育士姿勢」から期待される職員像を明確にし、職員との面談で意向・希望を確認できる仕組みを設けている。	
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。			
①職員の就業状況や意向を把握し働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a・b・c	職員との面談を通して就業状況や意向を把握する取り組みをしている。勤務の調整を図り、職員の有給休暇等の取得促進にも努めている。	
II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。			
①職員一人ひとりの育成に向けた取り組みを行っている。	a・b・c	職員一人ひとりが作成した目標シートをもとに年1回理事長、園長との個別面接を行っているが、目標達成度の確認等の実施を望みます。	お互いに確認し合いたいと思います。
②職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a・b・c	保育園の職員としてあるべき姿「保育士姿勢」を明確化し、研修計画を策定している。その計画をもとに教育・研修を実施している。	
③職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a・b・c	職員一人ひとりの研修する機会を確保し、研修参加者の復命も行い全職員に周知している。職員別の研修履歴等の整備を望みます。	各自の研修カード等を準備します。

項 目	評価結果	優れている点・改善を求められる点	評価結果に対する事業者からの意見
II-2-(4) 実習生の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。			
①実習生の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a・b・c	実習生受け入れ対応マニュアルを作成し、受け入れの意義を明文化しているほか、会議等で全職員に説明し共有化している。	
II-3 運営の透明性の確保			
II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。			
①運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a・b・c	ホームページの活用や園だより等により、保育所の事業や財務に関する情報を適切に公開している。	
②公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a・b・c	税理士事務所に毎月の収支、年度末の予算決算の指導を受ける等、適正な経営・運営のための取組を行っているが、その指導や指摘事項が経営改善に生かされていない。	特別指導されるようなことがなかったの で、これからは指導項目、指摘項目を明確 にさせていただくことを伝えます。
II-4 地域との交流、地域貢献			
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。			
①子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a・b・c	運動会や夏祭り、出前保育等で地域との交流を定期的に行っている。	
②ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a・b・c	ボランティアや地域の学校教育への基本姿勢や意義を明文化し、受け入れについては担当者を定め体制化している。	
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。			
①保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a・b・c	関係機関の連絡先一覧表があり、必要に応じて電話での確認や各種会合への参加により、連携を図っている。	
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組が行われている。			
①保育所が有する機能を地域に還元している。	a・b・c	夏祭り等で地域住民へ参加を呼びかけたり、近隣小学校行事の際は駐車場を貸している。	

項 目	評価結果	優れている点・改善を求められる点	評価結果に対する事業者からの意見
②地域の福祉ニーズに基づく公的な事業・活動が行われている。	a・b・c	夏祭りでの園開放、出前保育、近隣公園でのゴミ拾い活動、高齢者や障害者施設との交流等、積極的に活動を行っている。	
Ⅲ 適切な福祉サービスの実施			
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス			
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。			
①子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	a・b・c	理念・基本方針に子ども一人ひとりを尊重した保育を明文化し、保護者や職員へ周知している。	
②子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	a・b・c	プライバシー保護に関する規定を整備し、職員への周知及び共通理解により、子どもや保護者の意思を尊重した保育を実施している。	
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意(自己決定)が適切に行われている。			
①利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	a・b・c	利用問い合わせや施設見学に対し、パンフレットの配布や資料を用いての説明を行っている。ホームページを作成して、情報の提供も行っている。	
②保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	a・b・c	保育園が定めた様式に基づいて重要事項の説明を行っている。家庭や保護者の個別事情に配慮した延長保育等の相談・説明をしている。	
③保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	a・b・c	引継書による文書対応のほか、必要に応じた電話のやり取りによって継続性に配慮した対応を行っている。	

項 目	評価結果	優れている点・改善を求められる点	評価結果に対する事業者からの意見
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の上昇に努めている。			
①子どもの満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取り組みを行っている。	a・b・c	保護者アンケートや懇談会、個別面談等により把握する仕組みを整備し、アンケートの集計結果において改善への取り組みを図っている。	
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。			
①苦情解決の仕組みが確立されており、周知・機能している。	a・b・c	苦情解決体制を整備し、仕組みについての掲示や保護者への周知を行っている。	
②保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	a・b・c	相談や意見を述べたいときに相手や場所、方法を選択できる環境を整備し、保護者への周知に取り組んでいる。	
③保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a・b・c	相談や意見を受けた際の記録や報告手順等のマニュアルを整備し、保育園全体で共通理解を図り、迅速な対応を行っている。	
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取り組みが行われている。			
①安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a・b・c	リスクマネジメント体制を構築し、ヒヤリハット・事故報告書に記載している。改善に向けた要因分析と再発防止策を具体的に検討し、実効性の高い取り組みを望みます。	様式を見直して要因分析などをしっかり行い、再発防止に取り組めます。
②感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取り組みを行っている。	a・b・c	感染症への適切なマニュアルを整備し、清掃や消毒等の環境面への配慮や保護者への流行の周知等、感染の予防及び拡散を防ぐ対応を組織的に行っている。	
③災害時における子どもの安全確保のための取り組みを組織的に行っている。	a・b・c	事故や災害発生時対応マニュアルに基づき体制を定め、安全確保の取り組みを行っている。災害時における保護者、職員への安否確認の周知方法や職員の行動基準等の検討をし、策定を望みます。	一斉メール等を考えていきます。

項 目	評価結果	優れている点・改善を求められる点	評価結果に対する事業者からの意見
Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保			
Ⅲ-2-(1) 提供するサービスの標準的な実施方法が確立している。			
①保育について標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。	a・b・c	指導計画、個別計画は詳細に記載しながら、実施方法を文書化し、保育理念や方針、保育課程に沿った保育を行っている。	
②標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立されている。	a b・c	定期的に現状の見直しを行っているが、保護者や職員の意見、提案に基づいた見直しや検証を、PDCAサイクルでの継続的な実施を望みます。	そのようにいたします。
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。			
①アセスメントにもとづく指導計画が適切に策定している。	a・b・c	計画策定の責任者を定め、アセスメントを実施し、様々な関係職員が関わり、情報の共有化を図りながら指導計画を策定している。	
②定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	a・b・c	担任や関係職員で話し合い、保育園全体で保護者の意見も踏まえた評価・見直しを実施している。	
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。			
①子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a・b・c	子ども一人ひとりの保育実施記録は、定められた様式に記録され、子どもの状況等は日々の申し送りや引き継ぎノートの共有により適切に行っている。	
②子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a・b・c	個人情報保護規程を策定し、記録の保管場所や方法、保存と廃棄等が規程に則、適切に管理されている。	

◆ 細目の評価結果（内容評価20項目）

項 目	評価結果	優れている点・改善を求められる点	評価結果に対する事業者からの意見
A-1 保育内容			
A-1-(1) 保育課程の編成			
①保育の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。	a・b・c	保育課程は保育に関わる職員の参画のもと、保育の理念、保育の方針や目標に基づき、実態に応じて年1回見直しを行い、内容を全職員に会議等で周知している。	
A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開			
①生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a・b・c	年齢ごとに保育室を分け、用具の消毒、加湿器等を設置し保健衛生的な環境に配慮している。遊戯室を工夫して様々な保育を行っている。	
②一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a・b・c	保育士が子ども一人ひとりの欲求や要求に合わせた対応ができています。わかりやすい言葉づかい、傾聴の姿勢等、子どもの内面の状況をよく理解して保育にあたっている。	
③子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	a・b・c	食事を終えた子どもから順次に歯磨をし、自由にごっこ遊び等している。食事の遅い子どもにも配慮して保育が行われている。	
④子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a・b・c	春から秋の天気の良い日は、近くの公園で自転車の練習や自然と触れあっている。また、向いの小学校を借りて運動会や園での夏祭りを行い、地域との交流を図っている。	
⑤乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・b・c	発達過程に応じて、養護と教育の一体的な保育実践に取り組んでいるほか、個別の指導計画を作成し、一人ひとりの子どもに応じた記録や評価を行っている。	

項 目	評価結果	優れている点・改善を求められる点	評価結果に対する事業者からの意見
⑥3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・b・c	成長の差により様々なことに興味を持つため、怪我に繋がらないよう教材等の置き場所を工夫している。また、実習生が来た際は1, 2歳児と一緒に保育し、職員以外の大人との関わりも持つよう配慮している。	
⑦3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・b・c	社会性を身につけるため、トラブルを子どもが自ら解決できるように保育士が関わっている。就学する子どもについては、近隣の小学校の先生が来園し、就学前の状況を把握をしている。それ以外の小学校は保護者が子どもを連れて行き、就学前の情報伝達を行っている。	
⑧障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・b・c	積極的に障がいのある子どもを受け入れている。配置基準以上の保育士を配置し、障がいのある子どもにはその日の担当保育士が支援をしている。障がいに関わる研修も行い、職員で情報の共有を図っている。	
⑨長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・b・c	延長保育の子どもの申し送りを主に口頭で行っているが、確実性に欠けるため、引き継ぎノート等の活用を望みます。	担任が延長保育の担当でない場合は、引継ぎノートに記入するように話し合いました。
⑩小学校との連携や就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わり方に配慮している。	a・b・c	保育所児童保育要録を作成し、小学校へ出向いたり電話等のやり取りで連絡を密に取っている。また、小学校からの要望については保育計画に盛り込み教育的指導を行っている。	
A-1-(3) 健康管理			
①子どもの健康管理を適切に行っている。	a・b・c	健康管理マニュアルが作成され、発熱、怪我等の対策や体制が整っている。定期的に保護者へ保健だよりを配布している。	

項 目	評価結果	優れている点・改善を求められる点	評価結果に対する事業者からの意見
②健康診断・歯科検診の結果を保育に反映している。	a・b・c	検診日の結果を連絡ノートへ記載し保護者へ報告している。結果に対して対応策が必要な場合は保育の計画へ反映し、保育にあっている。	
③アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	a・b・c	アレルギー対応ガイドラインの設置をしている。定期的に研修を行い職員の知識の習得に努めている。アレルギーのある園児は食事のトレイを変え、栄養士・調理員や保育士がチェックしている。	
A-1-(4) 食事			
①食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a・b・c	季節の旬の食材や行事にあったメニューを心掛けている。年に1回レストランに出かけて食事をする等、子どもが食べ物に関心を持ち食事を楽しめるよう工夫をしている。	
②子どもがおいしく安心して食べることが出来る食事を提供している。	a・b・c	マニュアルにもとづいた衛生管理を実施し、子どもの嗜好、食べる量等を把握している。	
A-2 子育て支援			
A-2-(1) 家庭との緊密な連携			
①子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	a・b・c	日々の事は連絡ノートに記述し、登降園時に保護者と口頭で情報交換をしている。また、相談には随時対応するほか、保護者会でも情報交換の場を設けている。	
A-2-(2) 保護者等の支援			
①保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a・b・c	保護者からの相談には随時対応するほか、年2回のクラス懇談会、個別面接等を行い面談	

項 目	評価結果	優れている点・改善を求められる点	評価結果に対する事業者からの意見
②家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	a・b・c	虐待に係る対応マニュアルを整備し、手順を細分化している。小さなことでも気になることがあれば、主任、園長へ報告している。	
A-3 保育の質の向上			
A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士の自己評価）			
①保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	a・b・c	保育士等が保育の計画や保育の記録を通して自己評価を行い、保育内容の改善に生かされている。	